



「自律・自走し考動する 80 期生」

■ 文化祭に寄せて

体育館の設営中（大変な作業でしたね！）、担当の先生が語りかけた言葉が期間中で最も印象に残っています。

「学校行事は、みんなでつくるもの」

この言葉は、自重自治の本質をよく表しています。それは、個人が自らの行動に責任を持ち、他者との関係を尊重しながら、共に成長していく姿勢のことです。

「自己管理」：感情や行動を適切にコントロールし、軽率な言動を避けること。

「責任感」：自らの選択や行動に責任を持ち、周囲への配慮を忘れないこと。

「協力と成長」：仲間と共に学び合い、切磋琢磨しながら成長していくこと。

文化祭を振り返って、みなさんに少しでもこれらの実感が残れば、共に作り上げたチームの一員としては何よりの喜びです。学校行事は、準備や運営には困難も伴いますが、環境は所与のものではないと実感でき、組織の成員（生徒も教員もです）が「群れ」から「チーム」へと変化する貴重な機会です。

一年生最後に、一年間を振り返る機会があります。その時に、「文化祭の〇〇役を頑張った！」だけではなく、自己管理や責任感、協力といった自重自治の視点から具体的にどういったことをやり遂げたかや自分の成長につながったか、書き留めておいてください。自分たちは楽しくて良かった！で終わるなら、楽しませてくれる校外の施設に全身を委ねればいだけですから…。

各クラスの劇・縁日には、それぞれの個性と工夫が光っていました。注目した点を一言ずつ。

- 1 組：悪役の魅力が際立ち、印象に残る演出。
- 2 組：舞台背景幕反転が、省エネで効果的。
- 3 組：メルヘンとダンス。学芸会を思わせ、温かみがあった。
- 4 組：流行や万博、担任の先生まで盛り込んだ充実の内容。
- 5 組：演劇における「思い切り」の大切さを感じさせる演技。
- 6 組：伝統のカジノグッズを活用しながらも独自の盛り上げ方を工夫。
- 7 組：暗転やBGMに頼らず、しっかりと作り込まれた演劇を披露。
- 8 組：通りやすい声でストーリーを展開し、自然な笑いを誘った。
- 9 組：入口のおみくじで来場者を楽しませる工夫が光った。

どのクラスにも創意と努力が感じられました。縁日は、クラス全体で協力し来場者を楽しませる場づくりが印象的でした。体育館劇については、短い時間で幅広い観客に伝えるには、パロディ要素が効果的でしょうし、多くのクラスが戦闘シーンやネットミームを取り入れて笑いを誘っていましたが、それは「どこかで見たことのある何か」に頼る側面もあります。

大切なのは、「観客をどこへ連れていきたいのか」という視点です。劇団四季ミュージカルを思い出してみましょう。物語の目的地を明確にし、観客をその世界へ引き込む力。来年の劇・縁日・模擬店、いずれの企画にしても、終わったときにお客さんの中にどういった感情を残したいかを考えてみると、上級生のような工夫が凝らされた企画へと、さらに洗練されていくはずです。

■前期期末考査に向けて

文化祭を終え、前期期末考査が近づいています。行事の達成感に包まれながらも、今こそ「切り替え」の力が求められる時期です。

先日、阪神タイガースがリーグ優勝を果たし、多くの人が歓喜に沸きました。大山悠輔選手は「もう一度優勝したい」と連覇への意欲を語り、勝利に満足することなく、すでに次の目標へと気持ちを切り替えています。また、今季安定した活躍を見せた及川雅貴投手は、オフシーズンから「再現性」をテーマに取り組みを続けてきました。陸上トレーニングを通じて体の使い方を見直し、無駄な力みを減らすことで安定した投球を実現。日々の積み重ねが、確かな結果につながっています。

阪神タイガースの話題を例に挙げましたが、ここで伝えたいのは「切り替え」や「積み重ね」の大切さです。スポーツに限らず、どの分野でも共通する学びとして受け取ってもらえれば幸いです。

私たちの学びも同じです。今この瞬間が、次の可能性を内包しています。逆に言えば、おろそかにすれば、伸びる芽も摘んでしまう。向き合わなければ、成長の機会も逃してしまいます。蔑ろにしませんか？

＊ ＊

入学時に配布された「令和7年度 学校生活のしおり」(p. 7～8)を改めて確認しましょう。今回の前期末では、3観点による学習状況の評価の平均が100点満点評点で算出されます。学年末には5段階評定が出され、3年間の評定平均は大学入試や奨学金の基準となります。

授業や課題の理解に「積み残し」や「取りこぼし」はありませんか？ 夏休み前には多くの質問がありましたが、今はすべてを理解できているでしょうか。

本校では、授業を中心に学力育成を設計しています。授業と一続きである課題の「提出」が目的化していませんか？ その提出さえも後回しになっている人はいませんか？本来は、

理解を深め、力をつけるためのものです。短時間で済ませるのではなく、計画的に取り組むことで、確かな学力が身につきます。

計画を立て、それを実行する「習慣こそがすべて」です(『風立ちぬ』vol. 6より)。

一つひとつの学びを大切に、「次の勝負」に向けて準備を始めましょう。

前期期末考査 時間割	9/19 (金)	【1】現代の国語 (60分) 【2】歴総 (40分)
	9/22 (月)	【1】数学I b (60分) 【2】情報I (40分) 【3】英語R (60分)
	9/24 (水)	【1】言語文化 (60分) 【2】生物 (60分) 【3】保健 (40分)
	9/25 (木)	【1】数学I a (60分) 【2】化学 (60分) 【3】LHR
	9/26 (金)	【1】英語G (60分) 【2】物理 (60分)

■ 当面の予定 手帳にメモしよう！

12日(金) 【前期期末考査 1週間前】

29日(月) 秋休み(～30日)

30日(火) (希望者) 京都大学理学部研究室訪問
10月

1日(水) 始業式

6日(月) 国際交流：タイからの学校歓迎

8日(水) (希望者) 医療系説明会 (本校にて)

9日(木) 文理本選択説明会

16日(木) プチベーシックテスト③

進路LHR「担副に聴く」

前期成績個票配付

19日(日) (希望者) 駿台実戦模試 (上本町校※当初の案内から変更になっています))